

令和5年度 砺波市野球連盟大会実施要綱

この要綱は、公認野球規則・競技者必携に基づき、チーム及び選手の競技技術及びマナーの向上を図り、適正に大会運営を図ることを目的に定める。

- 1 試合
 - (1) 一般・少年部（中学生）

7イニング又は1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
ただし、決勝戦は、時間制限を適用しない。
※北日本新聞朝間野球富山県大会市予選の決勝戦は、時間制限を適用する。
 - (2) 学童部（小学生）

(公財)全日本軟式野球連盟の「学童野球新ルールへの導入」に基づき、6イニング又は1時間30分経過後の均等回完了をもって終了する。
試合経過時間は、大会本部が管理し、試合開始時間及び制限時間に達した時は、両チームに通告する。
- 2 投手の投球制限
 - (1) 少年部（中学生）

1人の投手は、1日100球以内を投球できる。試合中に100球に達した場合、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。また、1週間の投球数は350球以内とする。
 - (2) 学童部（小学生）

1人の投手は、1日70球以内（ただし、4年生は60球以内）を投球できる。
試合中に70球（60球）に達した場合は、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。
- 3 同点の場合は、延長戦は行わず、タイブレークを適用する。決勝戦も同様とする。

※最終イニングの前のイニングで同点の場合は、最終イニングよりタイブレークを適用する。
※次のイニングで1時間30分を超えると予想される場合は次のイニングより、タイブレークを適用する。

《タイブレーク方式》
継続打順で、前のイニングの最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。
すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。
勝敗が決しない場合は、これを繰り返す。
ただし、9イニングを完了して勝敗が決着しない場合は、抽選より勝敗を決める。
※北日本新聞朝間野球富山県大会市予選は、すべての試合において、タイブレークを適用しない。7イニング及び1時間30分を経過し同点の場合は、再試合とする。
- 4 得点差によるコールドゲームは、5イニング以降7点差とする。決勝戦も同様とする。
- 5 雨天又は、日没によるコールドゲームは、5イニングが終了すると成立する。
- 6 指名打者は、少年部・学童部を除き、使用することができる。
- 7 投手の12秒及び20秒ルールは、適用しない。（ただし、富山県大会・北信越ブロック大会・全国大会においては、学童・少年・一般・マスターズ・シニア等に限ることなく適用となるため留意のこと。）
- 8 チームは、3イニング（学童は2イニング）終了後、直ちにオーダー表を提出し、攻守を決める。
ただし、第1試合目は、試合開始予定時刻の20分前とする。
- 9 試合開始予定時刻になってもプレーができる状態になっていない場合は、棄権とする。
- 10 抽選番号の若いチームのダッグアウト（ベンチ）は、1塁側とする。
- 11 ダッグアウトに入る選手は、最低10名以上でなければならない。
- 12 試合中にダッグアウトに入れるのは、チーム代表者・スコアラー・監督・コーチ・選手・マネージャーとする。
- 13 服装については、全員がユニフォーム・帽子・ストッキング等が、同色・同形・同意匠でなければならない。
- 14 試合前のシートノックは行わない。
- 15 プレーヤー・審判に対する個人的なヤジは禁止する。違反した場合、審判・控審判が注意を与え、再び、注意を与えても対応しない時は、退場となる。
- 16 プレーに関して確認する際は、当該プレーヤー・監督・主将のうち1名とする。
- 17 審判の判定に関して、ストライク・ボール・アウト・セーフ等の確認はできない。
- 18 攻守交替は、すべて駆け足とする。
- 19 試合中の内野手間の転送球は、1回以内とする。
ただし、天候・時間等により中止する場合もある。
- 20 グラウンド内はもちろんのこと、ベンチ内での喫煙は厳禁とする。
- 21 試合終了後のグラウンド整備・ダッグアウト内の整理・清掃・ごみの持帰りは、各チームで責任をもって行う。